

パネリスト（五十音順・敬称略）

井上 透（いのうえ とおる）

現職：岐阜女子大学教授，同志社大学院非常勤講師，東京大学大学院情報学環非常勤講師，国士舘大学デジタルアーカイブセンター研究員，デジタルアーカイブ学会理事，日本教育情報学会理事，日本デジタル・アーキビスト資格認定機構専務理事・事務局長，国立科学博物館サイエンスコミュニケーター講座講師

元岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所所長，元国立科学博物館参与，元科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会委員

専門：情報学，シソーラス，博物館学

著書・論文：『デジタルアーカイブベーシックス 3-自然史・理工系研究データの活用』（監修・執筆，勉誠出版，2020），『地域文化とデジタルアーカイブ』（共著，樹村房，2017），『ミュージアムのソーシャルネットワーク』（共著，樹村房，2018），『新版 デジタルアーキビスト入門』（共著，樹村房，2019），「デジタルアーカイブと人材育成」（共同執，『デジタルアーカイブ学会誌』2（4）2018），「レジエレンス強化に資するデジタルアーカイブ活用」（『日本教育 情報学会第 32 回年会論文集』，2016）がある。

国立科学博物館では，デジタルアーカイブによる展示情報システム開発，標本・資料統合データベース開発，全国の自然史博物館・大学の保有する生物多様性情報のネットワーク（サイエンスミュージアムネット）開発，生物多様性情報を日本ノードとして（GBIF 国際生物多様性情報機構）へ分散型データベースのシステム開発，メールマガジン創刊，ウェブサイトリニューアル等を担当。

谷合 佳代子（たにあい かよこ）

現職：エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）館長

同志社大学大学院総合政策科学研究科 図書館情報学コース在学中

主な論文：「[A21] 労働史オーラルヒストリー・プロジェクト 多面的デジタルアーカイブ構築の試み」『デジタルアーカイブ学会誌』2 巻 2 号 24-27, 2018 年. 「エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）のデジタルアーカイブとデータベース」『コンピュータ&エデュケーション』44 巻 p. 22-30, 2018 年.

著書：『大阪社会労働運動史 第 3 巻』共著，大阪社会運動協会，1987.10. 『ささえあう図書館：「社会装置」としての新たなモデルと役割』共著，勉誠出版，2016.1. 『大阪の社会運動史と労働者の自由』（研究双書第 164 冊）共著，関西大学経済・政治研究所，2017.3.

水谷 長志 (みずたに たけし)

現職：跡見学園女子大学文学部人文学科教授 (司書資格課程担当)

略歴：金沢大学および図書館情報大学卒業。東京国立近代美術館企画課情報資料室長，独立行政法人国立美術館本部事務局情報企画室長などを経て，2018年4月から現職。

専門：図書館情報学，アート・ドキュメンテーション

主な著作：『図書館文化史』(勉誠出版，1982)，共編著書に『MLA 連携の現状，課題，将来』(勉誠出版，2010)，『公開ワークショップ「日本美術の資料に関わる情報発信力の向上のための提言 I-III」報告書』(JALプロジェクト，2015-17) 他。図書館サポートフォーラム賞受賞 (2007)，独立行政法人国立美術館長キュレーター・オブ・ザ・イヤー受賞 (2015)，アート・ドキュメンテーション学会野上絃子記念アート・ドキュメンテーション推進賞受賞 (2017)。

#### コーディネーター

阿見 雄之 (あこ たかゆき)

現職：東京国立博物館 博物館情報課 主任研究員

2005年東京工業大学大学院 情報理工学研究科 計算工学専攻修了

2009年～2011年東京工業大学百年記念館 資料調査研究員・特任助教

2011年～2018年東京工業大学 博物館 特任教員

2018年～現職

著書：『入門デジタルアーカイブ』(担当:分担執筆，範囲:デジタルアーカイブ活用の技術—美術館・博物館の例) 勉誠出版，2017.12 (ISBN: 9784585200604). 『展示学事典』(担当:分担執筆，範囲:デジタルアーカイブと展示) 丸善出版，2019.1 (ISBN: 9784621303597).